
2022年度交換留学 奨学金の申込みについて

グローバル教育部門長 プラート カロラス

下記要項をよく読み、条件を満たしていることを確認した上で奨学金に申し込んでください。奨学金の受給が完了した後、奨学金支給機関に提出するために、報告書の提出をお願いする場合がありますのでご留意ください。

また、奨学金受給者には、派遣留学報告会の発表や、学内広報誌の寄稿など、将来の留学生サポーターとしての活動をお願いすることがありますので、ご協力お願いします。

[注意] 現在、日本学生支援機構が実施する奨学金を受給している場合は、奨学金の種類によって休止等の手続きをとる必要があります。奨学金応募用紙より申し出てください。

選考について

奨学金申込者の選考については、派遣留学選考試験の結果および普段の学業成績を基に推薦順位を決定します。

※日本学生支援機構海外留学支援制度（次ページ「各奨学金の概要」の1を参照のこと）の奨学金を希望する方については、履修登録をした科目の全ての評価が記載されている成績表（学務情報システム[Campus Square]上の学業成績票）から前年度の成績を基に評価係数を算出し、基準を満たした方のみを対象とします。

申込方法

2021 奨学金応募用紙に必要事項を記入の上、期限までに提出して下さい。

提出先：inljimu@office.otaru-uc.ac.jp 学生支援課国際交流室にメールで提出してください

提出期限：2022年1月27日(木) 15:00

各奨学金の概要（注意：以下の説明は例年のもので、新年度には内容が変わることがあります。）

1. 日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金〔給付型〕

【趣旨】

諸外国の大学等との学生交流等に関する協定等に基づいて、日本の大学に在籍したまま、8日以上1年以内の期間派遣する場合、その学生を支援する制度です。この制度により、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の大学の国際化・国際競争力強化に資することを目的としています。

【支援の内容】

月額6～8万円が派遣留学月数分支給される給付型奨学金です。

【候補者の要件】

成績要件と家計要件があります。

成績要件については、派遣の前年度（2021年度）の成績を国際交流室が確認します。

家計要件を確認するため、この奨学金を希望する方は家計全体を証明する書類（源泉徴収票や所得証明書、確定申告書等の写し）を提出してください。

【評価係数の計算方法】

この計算で得られた結果が、2.3以上の場合、成績要件を満たします。

（これまでの実績であり今後変わる可能性があります。）

$$\frac{(\text{秀および優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1 + \text{不可の単位数} \times 0)}{\text{総単位数(不可の単位数を含む)}}$$

※この奨学金は大学毎に割り当てられている採用枠に限りがあり、残念ながら必ずしも要件を満たした者全員が採用されるわけではありません。

2. 第二種奨学金（短期留学）予約について〔貸与型〕

日本学生支援機構から留学期間中支給される貸与型奨学金で、留学期間終了後から返済が始まります。（ただし帰国後に「在学届」を提出することで返済が猶予されます。）

【申込み資格】

1. 出身学校又は在籍する学校における成績が平均水準以上と認められる者
2. 特定の分野で特に優れた資質能力を有すると認められた者
3. 学習に意欲が有り学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
4. 上記のいずれかで、家計支持者の年収・所得額から規程で定められた特別控除額（家族構成・家族事情等により異なります）を差し引いた金額（認定所得金額）が機構で定められた収入基準額以下であることが必要です。

※別紙「第二種奨学金（短期留学）のご案内」もご参照ください。

申請を希望される方へは、別途「2022年度 短期留学予約奨学金案内」をお渡ししますので、国際交流室へお申し出ください。

3. 後援会助成金奨学金について〔給付型〕

後援会助成金奨学金とは、商大の同窓会組織である「公益財団法人 小樽商科大学後援会」から、派遣留学生を支援するために寄附された財源により、成績優秀者に一時金として航空券代程度の額を支給する奨学金です（返還の必要はありません）。奨学金を受給することになった方は、ぜひ同窓会（緑丘会）の会員となり、商大生の支援者となっていただければ幸いです。

【選考基準】

1. 学業成績が優良な学生
2. 留学終了後に留学生サポーターとして活動する意思のある学生

留学生サポーターとは、ご自身の留学経験を活かし、国際交流の面で後輩を支援することです。具体的には、留学報告会での発表、留学報告書の公開、国際交流ボランティアやチューターへの登録、国際交流イベントへの参加、同窓会への加入などが挙げられます。ご自身に可能な方法で、後輩へのご支援をお願いいたします。